

出資法人等評価・カルテシート（平成 28 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団		
所在地	豊中市服部西町 5-1-1	所管部局・課	都市活力部 スポーツ振興課
設立年月日	昭和 62 年 6 月 4 日	代表者	理事長 桑村 三十三
基本金・資本金	基本財産 100,000,000 円	うち市出資額（率）	100,000,000 円（100.0%）
設立目的	豊中市及び豊中市教育委員会との緊密な連携のもとに、体育施設の効果的・効率的な活用を促進するとともに、各種市民団体との協働を基本とした生涯スポーツを推進することにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に資することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H26			H27			H28		
		市派遣	市OB		市派遣	市OB		市派遣	市OB	
役員	常勤	2	0	1	0	0	0	1	0	1
	非常勤	5	1	0	7	0	3	6	0	2
職員	常勤	16	0	1	16	0	3	14	0	1
	非常勤	137	0	2	138	0	1	173	0	2
役員の平均年間報酬（H27年度、千円）※常勤のみ		0			職員の平均年間給与（H27年度、千円）・平均年齢※常勤のみ			4,603千円・42.8歳		

3 財務関係

		金額（千円）		
		H25	H26	H27
損益計算書	総収入	704,759	714,778	750,171
	（うち市受入金）	576,433	588,228	618,816
	総費用	712,712	717,984	717,467
	経常損益	▲7,953	▲3,206	32,704
	当期損益	▲7,953	▲3,206	32,704

		金額（千円）		
		H25	H26	H27
貸借対照表	資産の部合計	261,067	261,418	314,424
	負債の部合計	114,119	119,852	140,154
	（うち有利子負債）	—	—	—
	純資産	146,948	141,566	174,270
	利益剰余金	146,948	141,566	174,270

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H25	H26	H27	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	5,150	5,150	5,100	事業運営費補助金
	事業費	—	—	—	
	運営費	5,150	5,150	5,100	地域連携事業
	委託料	4,283	4,437	10,666	健康福祉部、こども未来部、都市活力部
	指定管理委託料	567,000	578,641	603,050	指定管理委託料
	その他	0	0	0	
計		576,433	588,228	618,816	
ストック	貸付金残高	—	—	—	
	債務保証残高	—	—	—	
	損失補償残高	—	—	—	
	出資金	100,000	100,000	100,000	昭和62年度出資
	その他	—	—	—	
計		676,433	688,228	718,816	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H25	H26	H27
スポーツ教室	幼児から高齢者まで多くの市民が身近にスポーツで出会い、生涯にわたってスポーツに親しむ機会となるよう各種スポーツ教室を実施。	教室受講者数	121,282	118,473	121,033
水泳教室		教室受講者数	77,336	77,640	77,421
短期教室		教室受講者数	24,608	25,394	30,588
受託事業 (こども未来部)	こども未来部と連携し、豊中市内の公立保育所へ運動指導を実施。 (げんキッズプロジェクト)	実施回数	63	80	76
受託事業 (健康福祉部)	特定保健指導として実施される『内臓脂肪測定会』での運動指導。メタボリックシンドローム予防に焦点をあてた『無理しないカラダづくり講座』での運動指導	実施回数	20	24	34
受託事業 (学校教育課)	小学生の水泳授業の補助及び苦手克服のための水泳指導を目的に実施。	実施回数 学校数	10 2	5 3	3 2
共催事業 (障がい者団体)	支援が必要な子どものために指導者を派遣し、水泳・体操教室を実施。	実施回数	36	26	— (※)

※平成27年度 未実施

事業名	事業内容	活動指標	H25	H26	H27
社会貢献事業 (中学校早朝開放)	豊中市中学校水泳部のオフシーズン中の練習場書の提供及びプールの清掃活動	実施回数	98	100	95
社会貢献事業	地域・学校・大学・各種団体等と連携し幅広い事業を実施。	事業数	15	13	14
地域貢献事業	各種地域団体等と連携して事業を実施。	事業数	10	12	13
地域交流事業 (二ノ切温水プール)	地域との交流イベントとして小中学生を対象に水中運動会・餅つき大会を実施。	申込者数 (水中運動会) (もちつき大会)	236 61	222 52	119 35

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H25	H26	H27
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	81.8%	82.3%	82.5%
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	28.0%	26.7%	23.3%
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.1%	1.3%	1.3%
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	56.3%	58.4%	55.4%
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表します。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	115.4%	96.0%	97.0%
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	127.5%	145.9%	123.6%

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 独自体系 <input type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり(平成 年度予定) <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 済み(平成27年4月)

イ 情報公開

公開ツール	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL : http://www.spotoyo.com) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ()
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考
・ 体育館 4 館、武道館ひびき、高川スポーツルーム	平成 23 年 4 月から平成 28 年 3 月	共同事業体として受託
・ 温水プール 2 館	平成 23 年 4 月から平成 28 年 3 月	

6 経営上の課題

- ①自主財源比率の拡大⇒受託事業等の財団独自事業の拡大。
- ②コンプライアンスの向上⇒財団組織における透明性・適正性を内外に示すため、各種制度の安定した運用・規則の見直しを行う。
- ③財団ビジョン・アクションプランの実現⇒豊中市が示す財団の役割を果たすため、財団ビジョンに基づいた、アクションプラン（具体的な取組み）を進める。
- ④人材育成⇒人材育成プランに基づいた研修を充実させる。
- ⑤公益財団法人として安定した財団運営ができる基盤づくり。

7 経営改革の取り組み（平成 27 年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
運営方針の明確化	豊中市長の施政方針を受けて、年度当初に理事長から今年度の運営方針を示し、方針に基づき持続可能な財団運営を行った。	現在の取組みを継続する。
年度目標の設定	各課・各施設・各プロジェクトチームで年間のスケジュールと事業の目標設定をした。これを基に、事業・予算の進行管理を進めるとともに、職員間の目標・意識の統一をめざした。	事業・予算の進行管理を適正に継続する。
プロジェクトチームの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理一般公募プロジェクトチーム…指定管理者 3 巡目の公募に向けた取組みを行った。 ・自主財源確保プロジェクトチーム…持続可能な財団運営を可能にするための、自主財源確保の手段について検討を行った。 	今後も所属の垣根を越えて横断的な議論が望まれる事項が出てきた際は、適宜プロジェクトチームを設置していく。
人事評価の実施	年度当初に職務目標設定を各職員が行い、目標達成に向けて業務に取り組む。評価者に対して、共通理解を深める研修を実施した。	安定した評価制度運用にむけ取組みを進める。
財団ビジョン・アクションプランの遂行	財団ビジョン（持続可能な財団運営）の実現に向け、豊中市・豊中市教育委員会及び各種団体と連携し、アクションプランに基づき各種事業を実施するとともに、現時点での実施状況を整理し、残り 5 年間のスケジュールの再構築をおこなった。	再構築したスケジュールに基づき、着実な遂行に努める。
人材育成プランの遂行	研修制度・給与制度の本格運用に向けて取組みを行った。	職員への周知徹底と研修制度の充実を進める。
事業の拡大	財団ビジョン&アクションプランに基づく各種事業を実施するとともに、収益事業の試行として、施設利用者の利便性を高める物品販売を行った。	自主財源の拡大につなげるため、スポーツの専門家としてのノウハウを活かし、受講料収入、受託事業の拡大を進める。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <p>・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>平成27年度も、財団ビジョン&アクションプランに基づき各種事業を実施した。財団ビジョン&アクションプランは、豊中市のスポーツ推進ビジョンの中で位置付けられた、財団の役割、使命を果たしていくための、取組み方針、具体的な取組みを明確にしたものであり、豊中市のスポーツ推進に寄与する事業を実施できた。</p>	<p>①生涯スポーツの推進 ②各種市民団体との協働 ③健康づくりの支援 ④効率的で多様なサービスの提供 の4つの柱で、アクションプランに記載する各種事業を着実に遂行できるよう努めていきたい。</p>
<p>効率性</p> <p>・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか</p> <p>・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>人的経営資源を有効活用するため、職員のやりがいをもつために策定した人事給与制度及び、研修制度の2本柱からなる人材育成プランに基づき取組みを行った。</p> <p>取組みの結果、管理運営等の効率性が高まり提案内容の評価が、指定管理者3巡目の選定につながったと考える。</p>	<p>豊中市のスポーツ振興へ寄与するためには、財団の財源の確保・有効活用は必要である。</p> <p>しかしながら、指定管理事業における光熱水費の高騰などは財団全体の財源に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>豊中市のビジョンで明らかにされた、財団の役割を全うし、使命を果たすために自主財源の確保が急務だと認識し、自主財源のPTを立ち上げるなど、安定して財源を確保するための取組みを強化していく。</p>
<p>有効性</p> <p>・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>事業ごとに目標を明確に定めたうえで、成果効果の評価を行っている。</p> <p>マスコットキャラクター『とよピヨ』を活用したC I事業として、PR活動を積極的に行ってきた成果や、財団の取組みを多くの市民に周知できた。また、その活動を通じて、多くの団体とネットワークを広げることにもつながった。</p>	<p>財団のことを知ってもらうことから、「財団の事業に参加してもらう」、「スポーツに取り組んでもらう」ことのきっかけ作りを目的として、マスコットキャラクター『とよピヨ』を活用し、財団の本来の使命である、豊中市でのスポーツ振興に寄与していきたい。</p>
<p>総合評価</p>	<p>財団ビジョン&アクションプランに基づく2年目でした。公益性の高い各種事業を実施し、豊中市のスポーツ振興に寄与することができたと考える。また、新規の職員採用を行い、事業を充実させるため、また組織力を高めるための取組みも行うことができた。</p>	<p>豊中市スポーツ推進ビジョンに基づいた財団ビジョン・アクションプランの遂行が豊中市の出資法人として評価されることだと認識している。</p> <p>それを可能とするために、人材育成プランに基づいた、職員研修の充実などによる組織力の強化と、安定して事業を実施していくために収益事業の拡大に取り組んでいきたい。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか 	<p>「豊中市スポーツ推進計画（平成26年3月策定）」の中で、財団は、本市のスポーツ推進を図るために、重要な役割を担っています。</p>	<p>「豊中市スポーツ推進計画」の中では、出資法人及び体育施設指定管理者の位置づけで多数の事業を担っているため、それらの事業を着実に実施していく必要があります。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか 	<p>出資法人として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「市民の健康づくりを推進する事業」 ②「障害者のスポーツ推進を図る事業」 ③「地域や関係団体と連携し、地域でのスポーツ推進を図る事業」 <p>の3つの事業を中心に展開し、豊中市のスポーツの推進に寄与することができました。</p>	<p>引き続き、出資法人として、左記の3つの事業を中心に展開していく必要があります。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か 	<p>財団のマスコットキャラクターの「とよピヨ」を活用し、所管部局であるスポーツ振興課をはじめ、他部局や各種団体が実施しているイベントにも積極的に参加する等、財団のPRやスポーツの推進活動を行うことができました。</p>	<p>引き続き、所管部局であるスポーツ振興課をはじめ、他部局や各種団体と積極的に連携し、スポーツの推進を図る必要があります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>「豊中市スポーツ推進計画」の中で重要な役割を担っている財団として、市民の健康づくり、障害者スポーツ及び地域スポーツを推進する事業を実施することができました。また、所管部局であるスポーツ振興課をはじめ、他部局や各種団体とも積極的に連携しスポーツの推進活動を行うことができました。</p>	<p>「豊中市スポーツ推進計画」において推進すべき事業について、課題整理を行い、目標達成に向けた取り組みを行う必要があります。</p> <p>また、市民が気軽に参加できるラジオ体操やウォーキング等を推進し、スポーツ実施率の向上に努める必要があります。</p>